

コロナ禍と大学新入試を乗り越えて、夢だった大学に入学した。
でも、高校二年のときに描いた未来と今はまったく違う。
キャンパスをたくさん夜だちと歩くことも、
昼食を仲良く笑いながら食べることも、
休日に夜だちや家族と出かけることも、ない。
このきもちをどう伝えよう。くさしい。さみしい。もう、限界。
だけど、私はこの時代を生きて強くなる。
きっと、人の痛みに気づき、寄り添えるような優しい人に。
【京都府 / 1年】
【届けよう！ コロナ禍の大学生生活アンケート】に寄せられた声より（回答数7832人）

これからの大学生活を自らの手で創り出していこうと
思いあふれるWEBサミットを開催します。

大学生の
大学生による
大学生のための
with・after コロナ

全国大学生 サミット

University
Students
Summit 2021

全国大学生サミット 開催報告



全国大学生サミット実行委員会
(事務局:全国大学生生活協同組合連合会)

2021年12月作成



- 日時:10月31日(日)13時～17時
 - ・ 企画イメージは「WEBオープンキャンパス」
 - ・ 参加費無料／入退場自由
- 参加者:全国の大学生、大学院生、大学教職員、応援・支援したい一般社会人
- 参加 **ちょうど1100人**
 - ・ 参加申込:1032人 (学生・院生496人+社会人536人)
45都道府県から1000人を超える参加申込(目標2000人)
 - ・ 登壇者:30人
 - ・ 主催者:38人
- プログラム詳細
 - こちら>> <https://www.univcoop.or.jp/activity/summit/program.html>
 - 全国大学生サミットWEBサイト>> <https://www.univcoop.or.jp/activity/summit/index.html>

実施概要: プログラム概要

全体会 7832名の大学生活'21 ～大学生活ってどんな生活？ 送りたい生活はこんな生活～	参加者同士で自分たちの“フツー”の大学生活を交流しながら、これからのキャンパスライフについて話し合います。
分科会A 集まれ！“フツー”の大学生！ ～みんなで考えよう！ わたしのキャンパスライフ～	オンライン授業も含めたこれからの大学授業について、学生・大学教員など様々な階層からゲストスピーカーをお招きし、考え合います。
分科会B オンライン授業の今を語りあおう！ (大学授業の今とこれから)	オンライン授業も含めたこれからの大学授業について、学生・大学教員など様々な階層からゲストスピーカーをお招きし考え合います。
分科会C あなたと一緒にあなたを探す ～心理カウンセラーと話してみよう～	8割の大学生が不安を抱えている一方で、学内カウンセリングの利用は5.2%にとどまっています。この分科会では、実際に大学で学生相談室を担当されている先生方に多数ご参加いただき、学生のこころの問題や学生相談機能の気軽な活用について話し合います。
分科会D ぶっちゃけ！ コロナ禍のシューカツを語り合おう！	コロナ禍での就職活動について、「みんなどうしているの？」「先輩たちはどうしたの？」といった大学生の気になるテーマでじっくりと話し合います。



実施概要：参加概数

※出入自由のため概数

プログラム	前半	後半
全体会 7832名の大学生活'21 ～大学生活ってどんな生活？送りたい生活はこんな生活～	600	
分科会A 集まれ！"フツー"の大学生！ ～みんなで考えよう！わたしのキャンパスライフ～	140	70
分科会B オンライン授業の今を語りあおう！ (大学授業の今とこれから)	170	160
分科会C あなたと一緒にあなたを探す ～心理カウンセラーと話してみよう～	90	40
分科会D ぶっちゃけ！ コロナ禍のシューカツを語り合おう！	120	120



アメリカ コーネル大学留学中 小林令奈さん(3年生) 現地から参加(時差13時間)

アメリカの状況を紹介
日本へのメッセージ



メッセージ

- 教職員 みなさま、もっと生徒を信じてみてください！
- 生徒 みなさん、あなたの考えを実際に伝えてみてください！

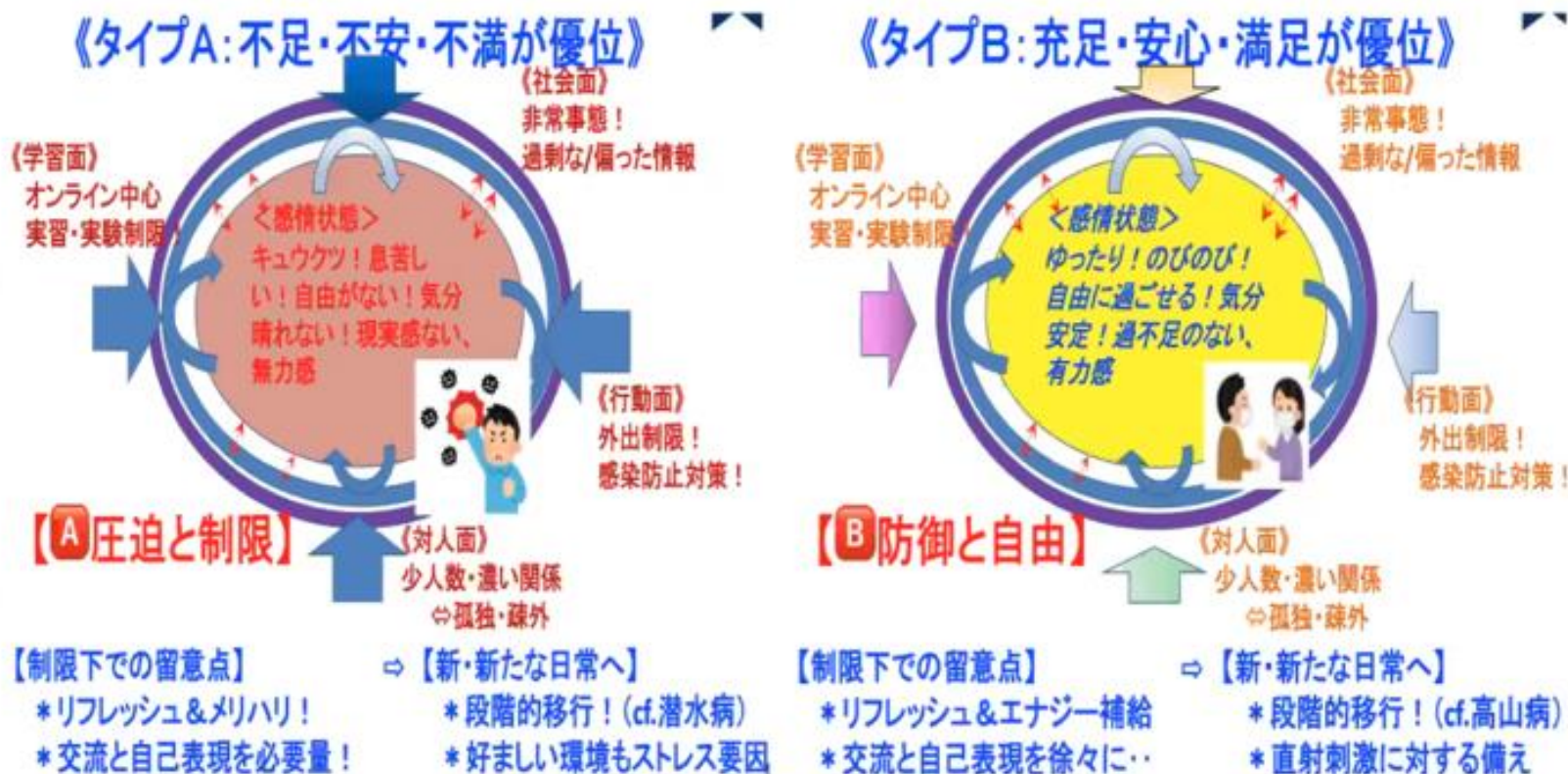
コロナに負けず、すてきな大学生活に
していきましょう！

齋藤 憲司先生
(東京工業大学教授/カウンセラー)

こころの持ち方のアドバイス



=「全国大学生サミット」全体会コメント=(東工大カウンセラー・齋藤) * コロナ禍における「学生のこころ」



奈良由美子先生(放送大学教授)
東京都新型コロナウイルス
感染対策医療アドバイザー

みなさんは、しなやかに、
工夫しながら、強く、コロナ禍
を乗り越えてきた。
確実に力をつけて、
成長していると思う。

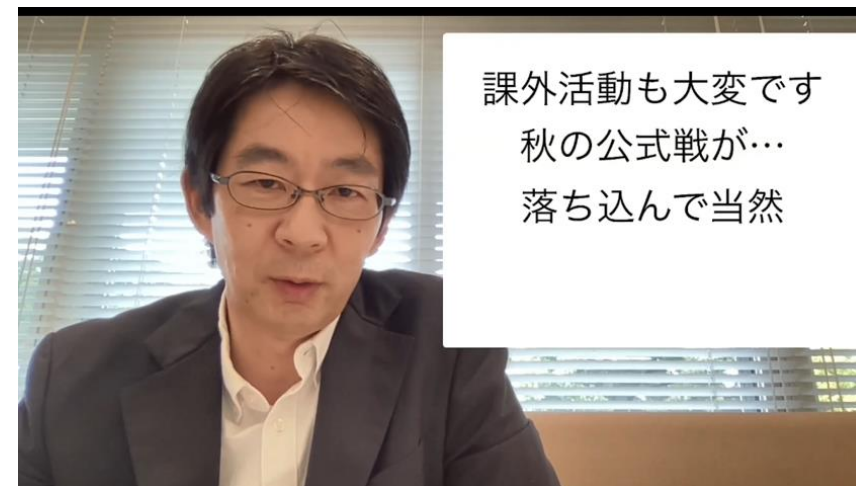


増谷 文生氏(朝日新聞論説委員)



- 大学生が苦しんでいることを大学も社会人の多くも気づき、何かしてあげたいと思っています。
- ただ、どのように学生にアプローチしたらいいのか、その方法がわからないことがあります。
- 今回のように、学生側から声を上げることが大切。大学も社会も学生の考えを知りたいのです。
- SNS上の心ない意見に、あまり影響されないで。学生同士がつながって強くなりましょう。

私を含め大勢の社会人が応援しています！

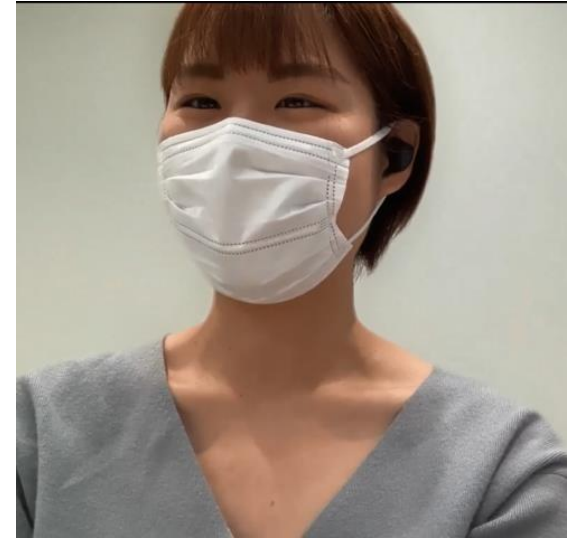


課外活動も大変です
秋の公式戦が…
落ち込んで当然

鈴木 健一先生
(名古屋大学教授/カウンセラー)
アメフト部の部長も務めている。

新しい価値観で、
新しい伝統/文化を
作っていこう！

大学生YouTuber
パーカーさんも、
パネラーで参加
(神戸大学在学中)



分科会A キャンパスライフ 当日の様子

パネラー(学生)と参加者で、オンラインアンケートも駆使して語り合った。



学生数人から最近の状況や心境を紹介



変わるきっかけ



コロナで思い出無さすぎるから
ゼミでプレゼンコンテストでようよ！

コロナウイルスの影響で
ことごとくプレゼンコンテストは中止！



じゃあもう、コンテストも自分達で開催しちゃおう！



①企画Ⅱみんなで宣言しよう！

オンラインアンケートで、これから頑張りたいことを交流

新着順

古い順

いいね順

専門を深めつつ、他の分野の知識も身につける！

#25  ポン酢



自分の研究する分野を決めて、その内容をきちんと人に説明できるようになりたいです。発表の場にも立ってみたいです。またたくさんの人と出会って多様な価値観に触れたいです！一生の友達もできるといいな。

#24  みっちー



ざっくりしてるのですが、将来について真剣に考えたいです！その為に研究や実習を頑張りたいです！

#23  りょーた



人と話すの 臆しないようにしたい

#22  の



一人で海外旅行に行きたい、小さい目標は自動車免許を取ることです。

#21  T.H



分科会B ギャラリービュー 録画



コロナ禍で注目されたこと “**正解がない**”

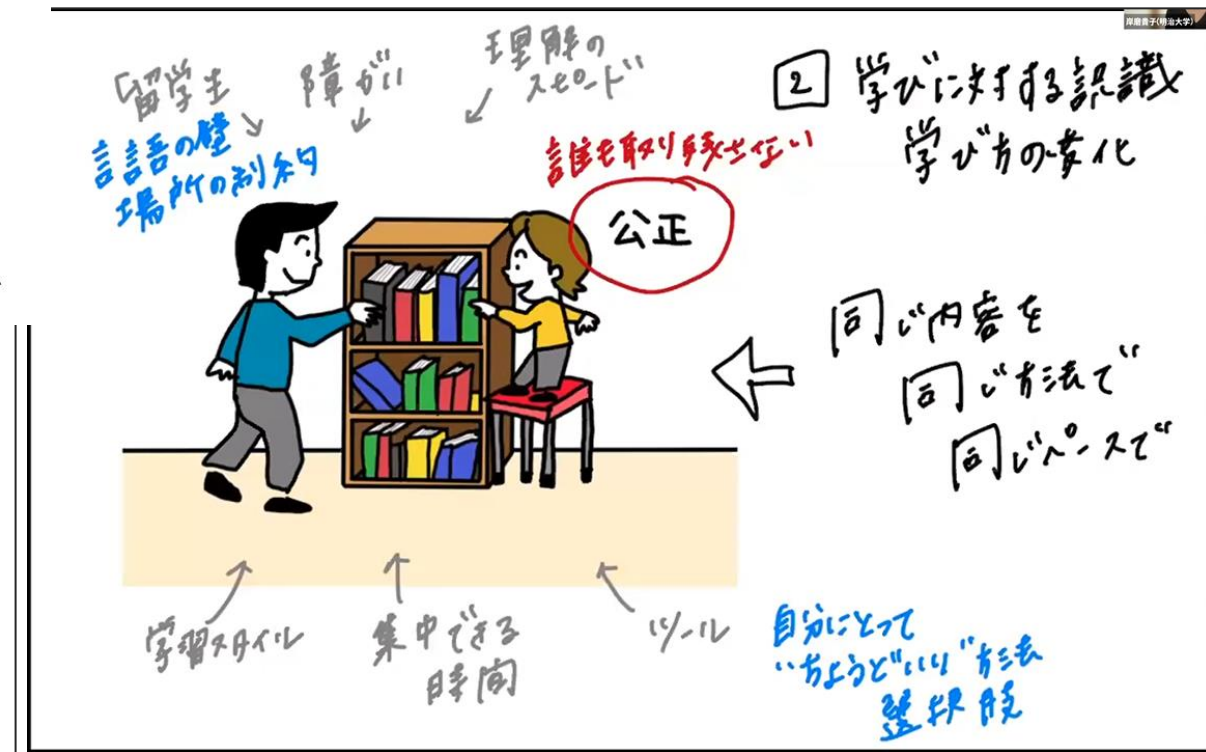
VUCA※時代における処世術として**不易流行**を意識すること

変えてはならないこと ➡ 変わっていれば課題

変えなければならないこと ➡ 変わっていなければ課題

Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字を並べたアクリニム

岸磨貴子先生(明治大学)、
濱名篤先生(関西国際大学学長)、
畠一樹先生(徳島大学)
から事例報告



オンラインアンケートで感想交流

ターム①：先生や学生のお話を聞いていて、感想やご質問があればどうぞ！

受付中

#22



あらい

大学内だけでない地域を越えた連携、参加した双方の、学びや気づきの幅が広がりそうだと思います。勉強になります。



1

#21



(事務局代行入...

教員の価値は、何を語れるかではなく、現実を知る誰かをどれだけ知って、オンライン授業に参加できる現場の方とつながっている先生かどうかだと思う。



1

#20



はる

「修得実感」というのは、本当に修得できたのか気のせいなのか興味深いです。むしろ修得の有無がオンライン授業によって顕在化したのかも。



2

#19



社会人

学長や先生が、学生さんに調査を企画させる場を作る、という取組、コロナがあったからこそ実現できたのかな、と思いました。



1

Liveアンケート



それぞれの学生相談室からライブ中継。

札幌学院大

- ・ ト部先生(カウンセラー)
- ・ セラピードッグ エースくん(6才)
- ・ 仲良しの学生



名古屋大学

- ・ 鈴木先生(カウンセラー)
- ・ 相談室現場の様子
ご自宅に見えますが
学生相談室です。

学生相談室の
利用経験があ
る学生、カウ
ンセラーの先
生で座談会

- 利用したきっかけは？
- どうだった？
- いつでも気軽に！





常見陽平先生(千葉
商科大学国際教養
学部准教授)、現役
就活生、就活生を終
えた4年生で、参加
者の疑問や悩みな
どにコメント。

分科会Dギャラリービュー 録画

就活経験者から経験談も交えてアドバイス



Live!アンケート | 無料でカンタン!リ × Live!アンケート | 無料でカンタン!リ × +

https://enquete.eventos.tokyo/screen/?key=huX2jUqds9T4zOsfq8tF&hash=IAmh3tsjRmzbeYG7

みなさんのお悩みや不安を教えてください！自分自身の工夫や経験もぜひ！

受付中

新着順

古い順

いいね順

#13



からあげ

まだ3年生ですが、LINEのオープンチャットも活用して情報を集めています！(就活生向け、教員志望向け、公務員向けなど色々あります)

👍 1

#12



イーファイブ

オンラインだと就活仲間を作るのも難しいよな。

👍 1

#11



a

夏に2週間インターンシップ行ったけど、オンライン開催に変更なり、企業の雰囲気がいまいち分からなかったです。

👍 1

#10



ABC

コロナ禍のためなかなか就活をしたことのある先輩と繋がれないのが不安です。

👍 3

分科会Dギャラリービュー 録画

常見陽平先生から疑問や悩みにコメント+エール！

みなさんのお悩みや不安を教えてください！自分自身の工夫や経験もぜひ！

受付中

新着順 古い順 いいね順

#68 Yu たしかにガクチカのための大学生活ではなく、ガクチカが今後につながるという順序ですね 2

#67 ぼく 意識してすることではなく、自然にできることこそ、普段からの自分の考え方が見えてくるということでしょうか？ 3

#66 koji(社会人) おっしゃっている通り、ガクチカで大切なのは、結果よりもプロセスですね。何を感じ、考えながらその経験をしたのか。 2

#65 社会人1年目 ガクチカのための大学生活にはしたくない！！#63さんに共感です！ 2

◆ アンケート結果の共有に力づけられた大学生は多かった。

- ・自分だけが抱えてる悩みだと思っていましたが、多くの学生が似たような悩みを抱えていることを知れて少し安心しました。(宮城県/4年)
- ・2年生の大変さは本当に、苦しかっただろうと思う。また、みんなが大学生に対する批判、中傷に少なからず苦しんでいたということを知れて、ちょっと心が軽くなった気がした。社会に負けちゃいけないと思った。(神奈川県/3年)

◆ 大学生同士が交流することで、明日からの大学生活を前向きに取り組む受け止めは広がった。

- ・大学1年の頃はずっとオンラインだったため、孤独感や不安などで毎日がとても辛かった記憶があります。大学生サミットへの参加は、私のことを見かね、母が勧めてくれました。他の大学生の話を知ると、自分のことをさらに卑下してしまうのではないかと、正直初めは参加することに抵抗感がありました。しかし今は参加して本当に良かったと感じています。同じ学生の話を知ったことで勇気をもらえ、気持ちを新たにこれから頑張りたいと思えました。出来れば、1年生の時にこのようなサミットに参加したかったです笑。開催していただきありがとうございました。(東京都/2年)

- 自分が大学生になって頑張るときに就活に書けそうなものという縛りで見てしまっていたのですが、そうでなく自分が頑張りたいことに正直にやっていくのがいいなと思いました。(大阪府/1年)
- 就活経験者・人事採用担当者の方々の貴重な生の声が聞けたのが本当に良かったです。退屈することなくこの時間を楽しめたと思います。(大阪府/2年)
- コロナ禍であったからこそ、オンラインを活用した様々な地域の人と考えを共有することのできる機会ができたり、学生自身が行動を起こす機会ができたりとメリットもあること、全体会では学生と先生の双方が授業を作っていくという意識をもっていくことが大切だという考えが持てました。(奈良県/1年)
- 就活の分科会で、自分の悩みや他の人の悩みなどを交流できて、私だけじゃなくてみんなも同じように悩んでいるんだって思えて、就活のモチベーションがすごく下がっていたんですけど、また頑張ろうって思えました！(京都府/3年)
- 全国の大学生のコロナ禍での大学生活や、就職活動について知れたり、情報を共有することができたりして、自分と同じような思いを持っている学生がたくさんいると知ることができたので参加して良かったです。(奈良県/2年)

◆「社会が気にかけてくれている」ことに安心感を感じた大学生は多かった。

- 教職員や社会人といった大人の方々が、大学生のことをこれほど考えてくださっているとは知りませんでした。たくさんのお話が聞けてよかったです！（熊本県/1年）
- 久しぶりに自分自身のことについて人に話したのですが、カウンセラーの方が私の話を真摯に聴き入った下さったのがとても嬉しかったです。（鳥取県/3年）
- 学生さんの“つながり”が随所に感じられてよかったです。朝日新聞社の方、カウンセラーの方が、大学生活を危惧し、サポートしている姿と行動に大変共感しました。私も大きなことはできませんが、自分なりに学生さんのためにできることを考えて、周りの人たちと一緒にサポートしていこうとあらためて強く感じました。（東京都/社会人）
- 普通であつたら繋がることのできない各地の大学生と、オンラインでつながれたことが何より嬉しかったです。また、参加していた社会人の方や専門家の方々等の、私達大学生を応援している、というメッセージが嬉しく、これからの大学生活を送る上で、とても心強い心の支えとなった。（東京都/2年）

◆とはいえ、まだまだキャンパスの不安な状況は残っている。

- 2020年2月以前の大学を取り戻すことを諦めずに、頑張りたいと思います(愛知県/大学院)
- 全体を通して、参加者はポジティブな学生が多いのかなとの印象を受けました。今現在苦しくて、きっかけを作りたいと考えている学生には、ちょっと中に入っていきづらかったのではないのでしょうか。(北海道/社会人)

◆そんなに大学生活充実してないこともないですよ

- おそらく私は恵まれている方だと思います。コロナ禍ですがこの頃はほとんど不自由なく友達と付き合うことができています。(三重県/4年)
- オンライン慣れしたから、正直対面に切り替えなくていい。オンデマンドで動画を何度も見た方がいい。(東京都/2年)

◆ これからも、大学生同士でもっとつながりたい！

- 今回の企画のように、チャットなどを通して大学生活について語り合える機会があれば良いと思います。(滋賀県/1年)
- 普段関わることのない、環境の違う大学生の意見を聞くことができ、オンラインでこういったイベントができることが改めて私たちは強い武器を手に入れたなと思いました。(広島県/3年)
- 今やりたいなって思った事、いまだからこそ出来る事、出来なくて困って立ち止まっちゃった事、ぜんぶひっくるめて皆さんが人と共有したりストレス発散していけたらなと思います！(栃木県/2年)
- 定期的に全国の大学生が集まれるイベントみたいなものがあるといいなあって思いました！(愛知県/3年)

【おまけ】

全国大学生サミットの中でも、
ハロウィンやりました
(10/31ですから！)





後援、協賛、収支概況、報告冊子発行計画

◆ 後援 ありがとうございます

- ・ 文部科学省
- ・ 日本学生支援機構
- ・ 朝日新聞社

◆ 協賛 ありがとうございます

- ・ 企業・団体:110件
- ・ 個人:13件
- ・ 100件超えの目標に到達
- ・ 多数の応援メッセージもいただきました。

◆ 収支概況(税込)

- ・ 収入(協賛):3,430,000円
 - ・ 支出:3,420,875円
 - ・ 収支:9,125円(残余金)
- 残余金は、たすけあい奨学制度(大学生協奨学財団)に寄付。

◆ 報告冊子 2022.1/21頃お届け予定

- ・ 後援、協賛いただいた企業・団体・個人
- ・ 大学関係者

